

大谷保育協会本部フォローアップ講座

# 気になる保護者の受け止めとその対応

## 受けとめる保育の在り方について

### ～保護者に寄り添う子育て支援～

そうなんですねー

なるほどねー

たしかにねー



東亜大学客員教授・九州大谷短期大学講師

大分こども発達支援研究所所長 牧野 桂一

# 保育と保護者の子育て支援

- 1 保育現場における保護者の現状と課題
- 2 子育て相談
- 3 子育て相談の内容
- 4 コンサルテーション
- 5 障害児相談
- 6 カウンセリング
- 7 保護者支援の基本的なスタンス

# 保育現場における保護者の現状と課題

## ◆気になる保護者が増えているか

- 園からのお知らせを忘れている
- 必要以上に不安が高い
- 保育内容等に厳しい要求
- 集金が難しい

# 保育現場における保護者支援

- 1 子育て相談
- 2 障害児相談
- 3 要望・抗議
- 4 カウンセリング

# 子育て相談

- **保護者の指導**
- **コンサルテーション**

# 子育て相談の内容

- 子どもへの関わり方、接し方など親子の関わり方に関わる相談
- 日常の子どもの世話に関わる日常生活支援に関わる相談
- 基本的な生活習慣に関する相談
- 発達を促す遊びや遊具に関わる相談
- 体のことや病気に関わる相談
- 子ども同士の関わりに関する相談
- ことばに関わる相談
- 家庭に関わる相談
- 気になることへの相談
- 療育機関等関係機関に関わる相談

# コンサルテーション

- ・子育て支援
- ・子育て関係行政の活用
- ・子育て施設の活用
- ・家族支援
- ・子どものしつけ
- ・子育てグループとの付き合い
- ・各種専門機関の活用
- ・病気や障害への対応

# 障害児相談

- **障害に対する知識と情報**
- **子どもの障害の受容**
- **健診の活用**
- **家族関係と支援体制**
- **専門機関との連携・医師との連携**
- **就学指導**

# カウンセリング

- 障害児を持つ親の悩み
- 子ども育ての悩み
- 対人関係の悩み
- 精神疾患

参考 「受けとめる保育」

# 保護者支援の基本的なスタンス

- ◇ 主役はあくまでも「子ども」  
子どもが一番  
子どもが真ん中  
子どもに真っ直ぐ
- ◇ 子どもの発達を保障するためには保護者の協力は不可欠
- ◇ コンサルテーションとカウンセリングを織り交ぜながら状況に合わせて

# 保護者対応の基本①

## ① 話を聞く

受容と共感

- ◇ うなづく
- ◇ 相槌をうつ
- ◇ 目を見る
  
- ◆ 表情を読み取る
- ◆ 話を聴きながら展開のキーワードを探す
  
- ※ 途中で口を挟まないようにする

# 保護者対応の基本的②

## ② 話をする

そうなんですか なるほど たしかに

- ◇ 相手のペースに巻きこまれない
- ◇ 落ち着いてゆったりと、静かな口調で話をする
- ◆ 「一緒に考えます」の姿勢で寄り添い

# 保護者対応の基本的③

## ③ 純粹性

感情を処理すること

- ◇ 相手の感情を受け入れ,自分の感情に気づく
- ◇ 怒りや喜びの度合いを量り,客観的に自分の感情に気づけるように

# 保護者対応の基本④

## ④ 非言語的な行動に注目する

- ◇ 表情を読む
- ◇ 姿勢,対人距離,身ぶり,手振りの意味を考える

# 気になる保護者のアセスメントと関わり方

## ◆気になる保護者のタイプ

- ①発達障害のある保護者
- ②神経症がある保護者
- ③鬱病がある保護者
- ④パーソナリティ障害がある保護者
- ⑤統合失調症のある保護者
- ⑥ストレスの高い保護者
- ⑦家族関係等で悩みを持っている保護者

# 保護者のアセスメント

夫婦関係は？

養育支援できる家族は？

発達障害？

(知的障害を含む)

保護者

精神疾患？

パーソナリティ  
障害？

経済状況は？

傷つき体験？

# 保護者との関わり方①

## 発達障害が疑われる保護者(1)



発達障害とは、発達障害者支援法によると「コミュニケーションがうまく取れない自閉症、読み書きなど特定分野の習得が困難な学習障害、注意力に欠け動きの激しい注意欠陥多動性障害、自閉症スペクトラム障害など」をいう。

# 保護者との関わり方①

## 発達障害が疑われる保護者(2)



- ①発達障害への理解を深める
- ②分かり易い言葉で短く
- ③話しの内容を紙に書きながら整理する
- ④家族のキーになる人を探す
- ⑤関係機関との連携

※何を伝えたいのかを要約して確認する

# 保護者との関わり方②

## 神経症が疑われる保護者(1)



神経症というのは、一般に「ノイローゼ」ともいわれるが、「心因性の精神障害で精神的な葛藤、外界の環境などの圧力による危機状況にうまく対処できなくて、心理的に不安になり心身ともに障害を生じている状態」といわれている。不安や恐怖感がつのも、おどおどした態度が目立ったり、引きこもって外界との接触を嫌ったりすることもある。このような保護者の中には、育児ノイローゼなどと言われる人もいる。

# 保護者との関わり方③

## 神経症が疑われる保護者(2)



- ① 難しい言葉を使わず分かり易い言葉で短く
- ② 否定的な言葉を避けて状況の説明をする
- ③ できるだけ紙に書いて渡す
- ④ 家族のキーになる人を探す
- ⑤ 専門機関・医師との連携が必要

# 保護者との関わり方④

## うつ病が疑われる保護者



うつ病は気分障害に分類され「抑うつ気分」または「興味や喜びの喪失」をともない「睡眠障害」「体のだるさ」「頭痛や息苦しさ」を訴える病気で、その発生頻度は5%から10%になる。感情の沈滞、思考の渋滞、意欲の低下、体調不良等の状態が2週間以上続く。当然、子どもへの世話などができなくなってしまっている家庭も多いといわれる。これまでのうつ病は、自分を責めることが多かったのに対して、最近のうつ病は、他者に攻撃を向ける傾向が強くなっているという。

# 保護者との関わり方⑤

## 鬱病が疑われる保護者



- ①不安や辛い気持ちに寄り添う
- ②安易な励ましは避ける
- ③専門家への相談をすすめる
- ④家族への支援
- ⑤自殺の企画に注意する
- ⑥家族のキーになる人を探す
- ⑦専門機関・医師との連携が不可欠

# 保護者との関わり方⑥

## パーソナリティ障害が疑われる保護者(1)



パーソナリティ障害とは、「対人関係、自己像、感情の不安定及び著しい衝動性の広範な様式」をもっていて、「偏った考え方や行動パターンのため、家庭生活や社会生活に支障をきたした状態」という。パーソナリティ障害の人は、気分のむらが激しく、安定した人間関係を作ることが難しい。ただこのような人は、その人自身に深い傷つきの経験がもっていることがあるという視点を大事にしたい

# 保護者との関わり方⑦

## パーソナリティ障害が疑われる保護者(2)



- ①感情に振り回されなくて冷静に対応する
- ②言葉だけに反応せず本音を見極めて
- ③できないことはできないという
- ④家族のキーになる人を探す
- ⑤専門機関・医師との連携が必要

# 保護者との関わり方⑧

## 統合失調症が疑われる保護者(1)



統合失調症とは発病に関する直接の原因は分かっていないが、主として思春期以降に発病し、長期にわたって強い頭痛、全身の怠さ、不眠等をともなう特異な精神症状があつて、考えや気持ちがまとまりにくく、人格の統合が失われるために本人が困難や苦痛を感じたり、恢復のために治療や援助を必要とする病気で発病率は1%であると言われている。

# 保護者との関わり方⑨

## 統合失調症が疑われる保護者(2)



- ①不安や恐怖には共感する
- ②分かり易い言葉で肯定的なことを中心に伝える
- ②話の内容を紙に書きながら整理
- ③家族の中でキーになる人を見つけておく
- ⑤専門機関・医師との連携が不可欠

# 気になる保護者への対応のポイント

- ① 分かりやすいことばでゆっくり(間)専門用語は使わない
- ② 要望ではなく本音を見極める
- ③ 時間の変更はできるだけ紙で渡す
- ④ 家族のキーになる人を見つけておく

# 保護者面談の方法

- ・向き合う角度を意識して
- ・労をねぎらうことばから
- ・リラックスできる雰囲気
- ・相談の目的をはっきりと話す時は事実を具体的に
- ・不安な気持ちを受け止める受容的態度
- ・話は最後まで聞く
- ・批判や非難はしない
- ・子どもの良さへの気づき
- ・共に考えていく

# 傾聴法の技術

- ①場の特性や契約を説明：確認し、信頼関係（ラ・ポール）を作る第一段階とする。
- ②単純な受容：無批判・無評価の安全な場によって、相談者は自己洞察・自己実現が可能になる（うなづきの態度や言葉）。
- ③再陳述：解釈をはさまないこの聞き方は、相談者自身への正確な理解が向けられていると感じられる（オーム返し）。
- ④反射：相談者の表現に含まれている感情や内容を整理して返すと、相談者は自分の感情を整理し易くなる（要約）。
- ⑤感情の明確化：相談者の内面に深く洞察しながら、より適切で明確に言語化・意識化して伝える。
- ⑥open question（開かれた質問）とclosed question（閉じた質問）

# 保護者の受容の段階

- ① 否定の段階・・子どもの障害を否認
- ② 怒りの段階・・自分の子どもに障害があることが許せない
- ③ 取引の段階・・何とか障害がでないように何かにすがろうとする
- ④ 抑鬱の段階・・何も出来なくなり無気力
- ⑤ 受容の段階・・子どもに障害があることを受け入れる

参考 キュープラー・ロス「死ぬ瞬間」

# 保護者支援の留意点

- ◇ 保護者も傷つき苦しんでいる
- ◇ 「子どものため」に誠意ある対応
- ◇ 保護者をタイプ分けする必要も
- ◇ 分かりやすいことばで
- ◇ 一人で抱えない

# 保護者支援とそのため社会資源

- 1 子育て相談・・・保育園・こども園・子育て支援センター
- 2 障害児相談・・・特別支援学校・発達障害者支援センター・児童相談所・療育センター・教育センター・大学の発達相談部門
- 3 要望・抗議・・・保育園・こども園・行政窓口
- 4 カウンセリング・・・精神保健福祉センター・精神科医院・心療内科医院

# 保育者を取り巻く環境

## 感情労働の自覚

共感疲労

自分を守る強さ



信頼して守られ支えてもらうことで

さらに 誠実に保護者と向き合える

# 一人一人の保育者の自分の資質 の向上に努力

自分自身を評価する力も必要

- ◇ 専門知識を向上させる, 研鑽をつむ
- ◇ 子ども・保護者・スタッフとの関係を見つめる
- ◇ 他者のアドバイスには謙虚に耳を傾ける



チームワークが生まれる

# 保育者を支える環境づくり

## 保護者とトラブルが起きたら？

- ◇一人で抱え混まない
- ◇相談する
- ◇謙虚に反省し次に活かす勇気を
- ◇一人一人を信頼して守ってくれる職場



## 【留意事項】

- ◇ 保護者も傷つき苦しんでいる
- ◇ 「子どものため」に誠意ある対応
- ◇ 保護者をタイプ分けする必要も
- ◇ 分かりやすいことばで
- ◇ 一人で抱えない

# 組織の中での支援

(連携・協力・協調)

だれか一人のがんばり、から  
みんなのつながり(体制)による支援へ!



**「こまっている子ども」を放置しない!**

**「こまっている保護者」を追い詰めない!**

**「こまっている先生」を孤立させない!**